

### 外洋海域の海水モニタリング結果について

海上保安庁では、東京電力福島第一原子力発電所事故に対応する「[総合モニタリング計画](#)」において、海域モニタリングの調査点として位置づけられた外洋海域の海水モニタリングを実施しました。この度、分析が終了しましたので、結果をお知らせします。

#### ◎調査の概要

試料採取日：平成28年6月4日、5日

試料採取点：K-1,K-2,K-3,K-4(付図参照)

採取層：表層(海面～2m程度)・中層(海面から水深800m程度)

測定核種：セシウム-134(Cs-134) 半減期2.1年

セシウム-137(Cs-137) 半減期30年

ストロンチウム-90(Sr-90) 半減期29年

#### ◎海水中の放射能濃度

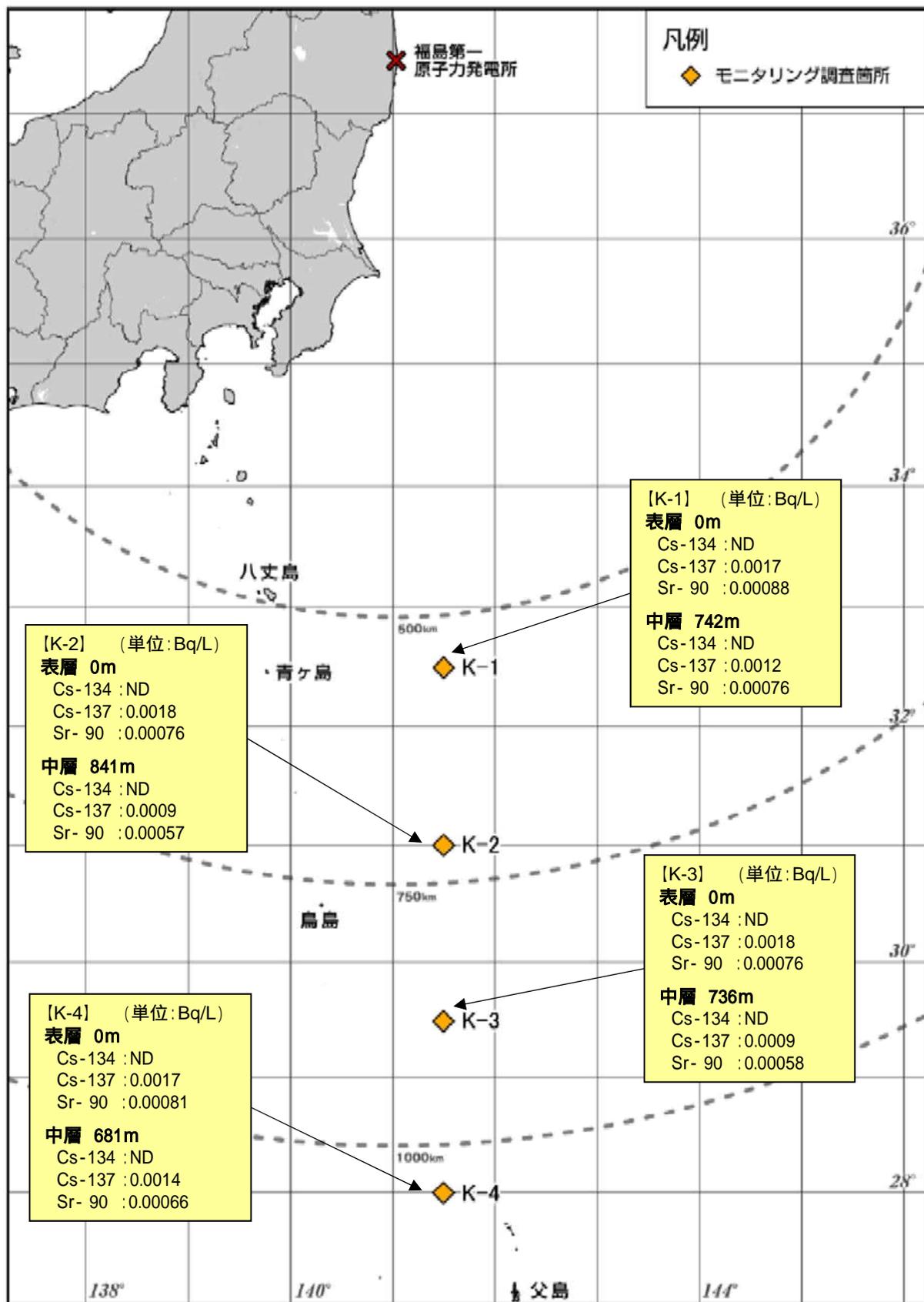
試料採取点	採取日	位置		採取深度 (m)	放射能濃度(Bq/L)		
		北緯	東経		Cs-134	Cs-137	Sr-90
K-1	2016/6/4	32°30'	141°30'	0	ND	0.0017	0.00088
				742	ND	0.0012	0.00076
K-2	2016/6/4	31°00'	141°30'	0	ND	0.0018	0.00076
				841	ND	0.0009	0.00057
K-3	2016/6/5	29°30'	141°30'	0	ND	0.0018	0.00076
				736	ND	0.0009	0.00058
K-4	2016/6/5	28°00'	141°30'	0	ND	0.0017	0.00081
				681	ND	0.0014	0.00066

※ ND の記載は、海水の放射能濃度の検出値が検出下限値を下回ることを示す。

セシウム-134は、すべてで不検出。セシウム-137は、0.0009～0.0018Bq/L、ストロンチウム-90は、0.00057～0.00088Bq/Lで、それぞれの過去2年間の平均値0.0017、0.0009Bq/Lと概ね同等または下回る結果でした。

【担当】海上保安庁海洋情報部環境調査課海洋汚染調査室  
電話：03-5500-7129(直通)

## 外洋海域の海水モニタリング結果 (平成28年 6月 4日, 5日 採水)



NDの記載は、海水の放射能濃度の検出値が検出下限値を下回ることを示す。